

## ひらがなを理解して読むという事

子ども達が、「あいうえおかきくけこ・・・」とあいうえお表に従って声を出して読んでいる事があります。

「すごい！文字が読める」と思いますが、実は「あいうえお・・・」と音を聞いて声を出している、つまり暗唱しているのかもしれない。

文字遊びをしていると、あ行からいえる子どもは多いのですが、「あのつく言葉」を使って遊ぶと、分からなくなるのです。

特に「カルタ遊び」がその例です。

「あひるのあ」と言っても、カードが取れない子どもがいます。

そこで、文字だけで教えるのではなく、「あめ」「かえる」「ひこうき」などといった言葉で教えると、一文字ずつバラバラに入らず、「あひるのあ」「かえるのか」など言葉と文字が一致して読めるようになります。

一文字覚えると、そこから次々と繋がっていき、様々な文字が読めるように繋がるようです。

ただ、カルタ遊びをしていると、あひるの絵があるから「あ」というように、絵札の絵を見て、取っている事も・・・。

そこでおすすめしたいのが、ことわざカルタ。絵を見て取るのではなく、読み手の言葉を聞いて、カードを取るので子ども達は真剣そのもの。

文字が本当に分かっているのか、よくわかります。

冬の室内遊びとして、ご家庭でもカルタ遊びをして楽しんでみてはいかがでしょうか。

子ども達の文字カアップに繋がるきっかけになるかもしれませんね。